

広報PJからのお願い

『おおさか剣道かわら版』についてのご意見、ご感想をお待ちしています。ご所属、お名前を記載の上、以下のメールアドレスまで投稿ください。

info-shinsa◆osa-kendo.or.jp

上記メールアドレスは◆を@に変更後お使い下さい

令和6年の7月号から、掲載されている記事ごとに1 いいね 2 いまいちだね の選択投稿ができるようになりました。非常に簡単ですので多数のアクセスをお待ちしております。

PCの方は下記URLへ（スマホも可）

<https://forms.gle/NvQqZ2cAbGRtV9V8A>

スマホの方は、下記QRコードからアクセスできます。



従来のようにメールを利用されてもかまいません。

よろしくお願いします。

おおさか剣道かわら版（広報誌11月号）をお届けします。内容は以下のようになっております。詳細は次ページ以降を参照ください。

- ・「パナソニック杯第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」試合結果のお知らせ
9月14日（日）、真夏並みの厳しい暑さが続くなか、おおきにアリーナ舞洲で開催、熱戦が繰り広げられました。その結果小学生の部で大阪Aチームが優勝。おめでとうございます。他の大阪代表のチームも皆さん頑張りました。お疲れ様でした。

（渡邊育真 大阪府代表 監督）

- ・「海外事情シリーズ ～モザンビーク編 その3～」のご紹介
「海外から見た日本の剣道」をテーマに原点回帰してみようというシリーズです。今回は「モザンビーク剣道・居合道協会」（通称 AKIMO）のメンバーのご紹介と日本とモザンビークの交流のシンボル「弥助」のご紹介です。

（松下賢宣 青年海外協力隊 立命館大学剣道部 OB）

- ・「2025年9月 大阪・関西万博でモザンビーク館」を訪ねて
モザンビーク館に行ってヤスケについて聞いてみました。

（西口芳治 かわら版編集WG）

- ・「竹の子剣道クラブの道場紹介」～心と体を鍛え、礼儀と絆を大切に～
大阪市平野区で前田豊先生が立ち上げ、今年創立50周年を迎えられた、竹の子剣道

クラブのご紹介です。

(前田一磨 竹の子剣道クラブ 指導者)

- ・「スポーツ安全講習会のご案内 (今年 12 月開催)」

(グッドコーチング第二弾)のご案内になります。

コーチングの第二弾を希望する声が多くあり再度土屋先生に講師をお願いして快諾いただき、今回はさらに一歩踏み込んで、グループワークによる実践方法を学んでいただく予定にしています。

(北端浩三 大阪府剣道連盟 総務委員会委員長)

- ・「道歌を訪ねて」～シリーズ第十三弾～

秋の夜長に、少年剣道の未来を想う。そっと窓を開け、月を仰ぎながら、剣の道における真の師弟関係を考えてみませんか。

(濱口雅行 かわら版編集WG)

海外事情シリーズ ～モザンビーク編 その3～



「海外から見た日本の剣道」をテーマに原点回帰してみようというシリーズです。

今回は、23 号からご紹介しているモザンビークの青年海外協力隊・松下賢宣さん(立命館大学剣道部 0B)からの便利「アフリカン剣道泣き笑い奮戦記」の第三弾。☆☆皆さんからの持ち込み企画、大歓迎です！

今回は AKIMO(モザンビーク剣道・居合道協会)のメンバーを紹介しましょう。

まず会長のヘンク・ソン氏です。彼は元オランダ軍の軍人で豪放磊落かつ思いやりがあり、今まで皆をまとめてきた卓越したリーダーシップの持主です。次に副会長兼総務のリカルド・ロソ氏は建築設計士で優れた企画力と調整力で貢献しています。それ以外にも教師や学生など多彩なメンバーが顔を揃えております。

ここで AKIMO のアイドル的な少女を紹介しましょう。彼女の名前は「アンシャ」といい、ちょっとシャイな性格ですが剣道が大好きでいつも真摯な姿勢で稽古に取り組んでいます。驚くのは彼女の身体能力です。そんなに大柄ではないにもかかわらず男子顔負けの跳躍力としなやかな竹刀さばきで大人の男子と対等に稽古をしています。彼女を日本に連れてきて4～5年みっちり鍛えればすごい選手になれるほどの力量の持主です。

私がモザンビークに来た理由の一つが「**黒人の剣士を育ててみたい。**」という夢がありました。かつて学生時代に北米と南米を旅行した経験があるのですが、そこで知合った黒人の卓越した身体能力としなやかな動きに感心させられました。体に触るとその筋肉はまるでゴム毬のように柔らかく、長いアキレス腱を持っており、我々黄色人種とはまったく違う身体構造に驚いたものでした。その時に「カール・ルイスのような 180～190 cm の手足の長い大男が 9 秒 9 の走力で面や突を打込んで来たら、さぞかしダイナミックで凄いだろな。」と思い、長年その夢を持ち続けておりました。



女流剣士 アンシャ

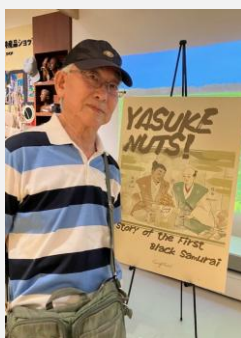
日本とモザンビークの交流のシンボル「弥助」

それからもう一つこの国に来た理由に「弥助」の存在があります。史実としては諸説あるようですが、彼は戦国時代に日本に渡来して日本の歴史上はじめて侍になったと言われている外国人で、彼の出身がモザンビークではないかと伝えられています。彼は織田信長の側近になり本能寺の変でも最後まで奮戦しますが最後は捕らえられ、その後どうなったのか詳細がわかっておりません。わずか 2 年あまりの記録しかありませんが、もし信長があと 10 年生きていたら黒人の城持ち大名が現れたかもしれません。そんな夢をかき立てる魅力ある人物です。今でも親日家のモザンビーク人は弥助のことを知っている方が多く、日本とモザンビークの交流のシンボルなのです。

この大先輩にあやかり、剣道で日本とモザンビークの国交発展に貢献してくれる「21 世紀の弥助」をぜひ育てたいと思っています。 <次号へ続く>

<2025 大阪・関西万博で ヤスケ情報>

9/30、万博・モザンビーク館に行ってきました。おー！ヤスケさんに似た方が。スタッフ ID をつけていたので、いきなりインタビューしてしまいました。



・ヤスケさん知っていますか？

→モザンビークでは有名だよ。なんで？

・そこでかわら版を見せて、今モザンビークの特集を連載しているんです。KENDO 知ってる？

→へー、KENDO はやったことはないけど、ヤスケさんは、Oda Nobunaga さんに仕えた First Black Samurai で、モザンビークではみんな知ってるよ。日本とモザンビークの交流のシンボルなんだよ。こっちのコーナーへ来ない？

で、連れていかれたのが souvenir コーナー。なんと「YASUKE NUTS！」かわら版を手に証拠写真です。

(かわら版編集WG 西口芳治)

道場自慢シリーズ ～「竹の子剣道クラブ」の紹介

～心と体を鍛え、礼儀と絆を大切に～

道場には、その歴史の中で、その精神や指導理念が先輩から後輩へと脈々と引き継がれることにより、その道場ならではの伝統が培われて行っております。今回は、「竹の子剣道クラブ」をお尋ねしました。

今年創立 50 周年を迎えました。

竹の子剣道クラブは、大阪市平野区で前田豊先生が立ち上げた歴史あるクラブです。クラブ名には馴染みやすさと「まっすぐに伸びる強さ、しなやかで折れない心を育てたい」という願いが込められています。

OB であるパナソニック剣道部・高優司さんの全面協力のもと、記念大会も盛大に開催されました。地域の子どもたちが剣道を通じて、礼儀・協調性・努力する力を身につけ、心身ともに成長できる場として、今後も活動していきます。



稽古日

月加美北小学校 18 時 30 分～20 時 30 分
水加美中学校 19 時 15 分～20 時 30 分
木加美南中学校 19 時 15 分～20 時 30 分
金加美北小学校 18 時 30 分～20 時 30 分
土日祝日 練成会・大会など
連絡先 06-6722-8338 安井商店（前田）

1 ヶ月無料体験

場所：加美北小学校体育館
日時：月曜/金曜 18:30～19:30（18:20 集合）
対象：年中～小学生
服装：動きやすい服装
持ち物：タオル・飲み物・マスク

🌟 竹の子剣道クラブの魅力

•元気な子どもたち

仲間と切磋琢磨しながら、自然と礼儀や思いやりの心が育ちます。

•経験豊富な指導者陣

初心者でも安心。低学年のお子さんへの指導に長けた前田先生をはじめ、優しい女性剣士の先生方が丁寧に指導します。

•アットホームな雰囲気

地元中心のクラブで、笑顔と本気の稽古が共存しています。

•イベントも充実

大会や合宿、錬成会を通じて技術も絆も深まります。



•着実な成長が実感できる

小学 6 年生で全員が剣道 1 級を取得。初心から立派な先輩へと育つ姿は、クラブの誇りです。

🏆 主な実績

全国大会（日本武道館）への出場や大阪代表選手の輩出など、小学生の部でも目覚ましい活躍。卒団後も強豪校への進学や実業団・教育・警察などで剣道を続ける OB・OG が多数います。



剣道の魅力

•礼儀や集中力、忍耐力が身につく



- 勝ち負けを通じて心が鍛えられる
- 年齢を問わず長く続けられる武道
- 仲間との絆が一生の宝になる

🌱 最後に

剣道は決して楽な習い事ではありません。防具の重さ、暑さ、勝敗の悔しさ…でも、子どもが夢中で頑張る姿に、親も「やっていて良かった」と心から感じる瞬間があります。

竹の子剣道クラブには、そんな子どもたちを温かく見守り、一緒に成長を喜び合える先生や仲間がいます。その時間は、親にとっても一生の宝物です。

興味のある方は、ぜひ見学・体験にお越しください。あなたのお子様が、未来の剣士への第一歩を踏み出すかもしれません。

（文責：竹の子剣道クラブ 指導者 前田 一磨先生）





スポーツ安全講習会のご案内(12月開催) ～「グッドコーチング」第二弾～



2月に開催した、「実践！グッドコーチング：新しい時代に求められる指導法」では、武道ならではの強みを踏まえながら、面白くてためになり、かつ明日からの実践に役立つようなコーチング方法を探り、新しい時代にふさわしいコーチングについて学んでいただきました。参加者にアンケートをお願いしたところ、コーチングの第二弾を希望する声が多数あり再度土屋先生に講師をお願いして快諾いただき、今回はさらに一步踏み込んで、グループワークによる実践方法を学んでいただく予定にしています。

なお、例年2月に当講習会を開催しておりましたが、今回は12月に開催いたしますので、お間違いのないようお願いします。

詳細は大阪府剣道連盟のホームページをご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。



日時：12月21日(日) 午後2時～5時(予定)

場所：エル・大阪 606号室(大阪府立労働センター)

講師：大阪体育大学 教授 土屋裕睦先生

(総務委員会)



清風 明月を払い
明月 清風を払う
とうざんりようかい
洞山良价禅師

『道歌を訪ねて』～シリーズ第十三弾～

「道歌」は、道の極意を簡潔に言い表し、七五調で覚えやすいところから「剣道道歌」をシリーズで取り上げて紹介しています。皆さんからの投稿をお待ちしています！

清らかな風が名月を払い清め、名月の白い光が清らかな風をもまた払い清める。この句は、互いの存在が相乗的にその価値を引き立たせる関係を表していると考えられます。これを少年剣道に例えるならば、清風は師を、名月は子どもを意味するでしょう。近年、少年剣道においてパワーハラスメントや暴言が問題となっており、その影響で剣道を志す少年少女の数は減少しています。これは剣道界にとって大きな危機です。秋の夜長にそっと窓を開け、特に指導者が持つべき「礼儀・礼節」について、静かに考えてみましょう。

(かわら版編集 WG 濱口 雅行)

～がんばっている皆さんを応援しています！！～



システム開発部

部長 今岡 藤代



〒531-0072
大阪市北区豊崎5-6-10 商業ビル
TEL: 06-6486-1020 FAX: 06-6486-1052
URL: <https://www.fvr.co.jp>
E-Mail: imaoka@fvr.co.jp



庖寿会 会長 筒井 宏樹

Hiraki Tsutsui
携帯/090-4852-8640

〒552-0001 大阪市港区波除3-3-9
TEL (06) 6584-4666 Fax (06) 6584-4156